



1階に設けられたスーパーハイビジョンのモニターは、国内でも最大級の280インチ。NHKの最新技術、超高精細の映像と迫力ある高臨場感の音声で体感できる。

### 「新しい場所の近く」 より身近な放送局に

「今後の地域との関わりをどのように考えますか。」

より開かれた放送会館を目指して、1階と2階に市民の方々が自由にご覧いただける公開スペースを設けました。「定禅寺メディアステーション」と

人観光客の増加にも結びつけていきたいと考えています。また、屋上から4階まで、吹き抜けで省エネにつながるほか、7階南側の外壁には太陽光発電パネルを設置し、館内で消費する電力の一部にあてます。さらに飲料水を含め新会館内で使う水は、すべて井戸水を利用します。災害で断水が発生しても会館機能を維持できるようにする狙いもあります。

### クローズアップインタビュー

## ラジオ放送開始から90年。 皆さまに、より信頼され、 活用していただける 放送局を目指して参ります。

日本放送協会仙台放送局 局長  
仙台商工会議所 顧問

にしむら むつお  
**西村 睦生 氏**

プロフィール

昭和34年1月29日生まれ。山口県出身。血液型B型。慶応義塾大学文学部を卒業後、昭和56年NHKに入局。初任地は、室蘭放送局放送部。その後、報道局社会部長、報道局編集主幹、同専任局長を経て、平成25年放送総局首都圏放送センター長に就任。平成26年6月より現職。趣味はランニング。「仙台に赴任してから始めました。仙台は走るのに気持ちがいいまちですね」と笑う。座右の銘は「初心忘るべからず」。



### 震災の記録を留め、伝えて 東北の魅力も発信

「2月4日、定禅寺通に新しい放送会館をオープンされましたが、移転の理由や経緯を教えてください。」

理由は大きく二つあります。一つは、旧放送会館は昭和36年に建設され既に56年が経過し、かなり古くなっていたこと。もう一つが7年前の東日本大震災です。震度6強の揺れに見舞われ、放送機能を止めることにはならなかったものの、建物の一部が壊れたり、ヒビが入ったりといった被害を受け、早期の建て替えが必要になりました。震災のあった年の8月には新しい会館の用地取得について経営決定がなされ、運良く錦町公園横のこの用地を取得することができたという経緯があります。

「新会館のコンセプトと新たな機能をご紹介します。」

地域の公共放送としての役割を考え、東日本大震災の被災地にあるNHKの拠点局であること、宮城・東北の発展にいかんにか貢献していくかといった点を議論しました。そして定めたのが6つの基本コンセプトで、「災害に強く放送持続可能な会館」、「安全・安心情報を提供し、地域に信頼される会館」、「東日本大震災を風化させない機能をもつ会館」、「宮城・東北の豊かな地域文化を発信する会館」、「杜の都にふさわしい文化の香りと親しみのある開かれた

で最初の放送局として開局し、今年、開局90年を迎えます。この記念の年に新しい会館がオープンすることになり、新たな歴史が始まります。震災からの復興に尽力していくことはもちろん、NHKは地域の放送局でありますし、地域とのネットワークがあつてこそそのNHKですから、宮城をはじめ東北の発展にこれまで以上に放送やイベントを通じて貢献していきたいと思っております。皆さまに頼られる、気軽に使ってもらえる公共放送でありたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いたします。

「最後に商工会議所会員の皆さんにメッセージをお願いします。」  
NHK仙台放送局は昭和3年に東北

### 地域の放送として 東北の発展に貢献

2階には全面ガラス張りの公開スタジオ「杜のスタジオ」を設け、四方から公開番組の様子を見ることができ、一般の方もご利用いただけるレストランもありますので、東日本大震災のコーナーとあわせて、ご活用いただくことで、これまで以上に地域の皆さんに親しまれる放送局をめざしていきたいと思っております。

**【概要】**  
**日本放送協会 仙台放送局**

代表者：局長 西村 睦生  
開局：昭和3年  
業務内容：国内放送（総合テレビ Eテレ BS1 BSプレミアム ラジオ第1・第2 FM）および放送と受信の進歩発達に必要な調査研究、その他、放送法に定められた業務を行っています。

所在地：仙台市青葉区本町2丁目20番1号  
TEL. 022-211-1001  
ホームページ：http://www.nhk.or.jp/sendai/

**やがて生まれ来る子供たちのために。**

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。  
大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。  
私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。

より良い環境をめざす  
**AOBA 青葉環境保全**  
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)

会館」、「地球環境にやさしい会館」であることです。

新会館は、敷地面積は旧会館とほぼ同じですが、延べ床面積は約2倍の広さです。建物は免震構造、7階に自家発電装置を2台設置し、これによって外部からの電源が途絶えても100時間間は放送が継続できます。また、災害は地震だけではなく、台風の台風の上陸など、地域の公共放送局として安全・安心に関わる情報を速やかにお伝えし、地域から信頼される放送局でありたいと思っております。

仙台放送局は東日本大震災の被災地の拠点局ですから、震災を風化させることなく、その教訓を次の災害に生かしていくことは、私たちの使命であると思っております。ですから、2階の視聴者公開スペースに、東日本大震災の関連番組を視聴できるシアターや、VR（バーチャルリアリティ）を使った体験コーナー、展示スペースなどを設けました。災害を「見て」「体験して」、「学んで」もらうことで、教訓を語り継いでいってほしいという思いを込めてつくったコーナーです。発災から72時間、NHKがどのような報道を行ったのかを見ることができるようコーナーも用意しましたので、ぜひ、立ち寄ってご覧いただきたいと思っております。

この他、広くなったスタジオを生かして、宮城・東北の豊かな自然や、各地の祭りなどの伝統文化、さまざまな食文化といった東北の魅力をこれまで以上に全国、海外にも発信して、外国